

## 1学期終業式のお話より

梅雨明けとほぼ同時に1学期が終わりました。

猛暑とともに夏休みです。

今日、担任の先生から「はげみの記録」が一人一人に手渡されました。ここに書き切れないほどの成長を子どもたちは見せてくれました。今まで、できなかったことができるようになったこともあるでしょう。がんばっていなかったことががんばれるようになったこともあるでしょう。テストで100点をとったり、授業中しっかり発表できたり、リコーダーや鍵盤ハーモニカを上手に演奏できるようになったり、鉄棒で逆上がりができるようになったり、ボールけりが上手になったりした子もいることでしょう。

でも、テストの点には表れないほどのがんばりもあったことと思います。遅れてでも学校を休まずに来れるようになったことや、部団で歩いてちゃんと来れるようになったこと、宿題を忘れずにやってこれるようになったこと、発表は苦手だったけど、授業中、しっかり友だちと一つしよに考えようとしたこと、休み時間しっかり外に出て元気にあそんだこと、友だちとけんかはしたけど、その後で自分をしっかり振り返ったことなど、どれをとってもすべて成長なのです。



写真は加工して掲載しています。

いつも見守ってくださっている地域の方々にお礼のごあいさつをして笑顔で帰って行きました。

2学期、元気に登校してくれるのを待っていますね。

一方で、まだできないこともあるかもしれません。片付けが苦手で、自分のつくえのまわりはいっぱい散らかっていたり、まだまだ忘れ物が多かったり、ついつい人のいやなことを大きな声で言ってしまうたり、素直になれずなかなかごめんなさいが言えなかったり……。漢字が苦手でなかなか覚えられなかったり、九九の中ですらすらいえない段があったり……。

でも大丈夫なのです。自分のダメなところ、できないところ、苦手なところは自分が一番よく知っています。よくわかっているということが大切なのです。そのことをしっかり振り返ることさえできていれば、きっとこれから成長します。今日、担任の先生からもらったはげみの

記録を見てしっかり振り返って見てください。そして早速夏休みから頑張れることがあれば、さっそく頑張ってみましょう。

---

さて、先日、大きな雷が鳴って、とっても怖い思いをしました。中には、泣き出してしまった人もいたようですね。先生は、その人たちの気持ちはとってもよくわかります。

去年もこの時期同じ話をしましたが、先生が大学4年生の時、目の前で同じラグビー部のなかまが雷に打たれて命を落としました。突然の出来事で、すぐには何が起こったのか理解することはできませんでしたが、目の前の友だちは起き上がってくることはありませんでした。心臓マッサージも人工呼吸もしましたが、命は戻っては来ませんでした。一人の命が失われることがこれほど辛く悲しいものであるということをその時に知りました。その悲しみがだんだんと薄れてくるときに、先生は決めました。その時は大学生でしたが、将来学校の先生になろうとしていたので、もし自分が学校の先生になったら、必ずこの出来事だけは毎年子どもたちに伝えようと決心をしたのです。このお話をするのはもう38回目になります。

それは、まさかと思うことが実際に起こることもあるということなのです。そして一度なくなってしまうたら命は絶対もとには戻らないということなのです。この夏、みなさんはたった一つしかない命を決して粗末にすることなく、自分の命は自分で守るということをしっかりと考えて、おうちの人ということもしっかり守って、安全な夏休みを過ごしてください。

それでは、安全で楽しく、実りの多い夏休みをすごしてください。  
2学期元気な笑顔でスタートできることを楽しみにしています。

---